

活き鮎通信

始良・伊佐地域青少年育成だより

発行

始良・伊佐地域青少年育成推進協議会
第56号 令和7年3月

〒899-5212始良市加治木町諏訪町12

始良・伊佐地域振興局総務企画課地域振興係

TEL 0995-63-8206

FAX 0995-63-8108

HP 鹿児島県始良・伊佐地域振興局 健康・福祉→検索

少年の主張県大会 優良賞受賞おめでとう 来年度に向けて多くの応募を!!

第46回少年の主張鹿児島県大会が、令和6年8月4日（日）に県青少年会館で開催されました。県内の応募総数1,746作品から、一次審査を通った10人の中学生が、自分の考えや思いを発表しました。

始良・伊佐地域からは、始良市立加治木中学校2年生の山之氏 海帆（やまのうじ かほ）さんが発表し、優良賞を受賞されました。おめでとうございます。



優良賞 始良市立加治木中学校2年
山之氏 海帆 さん

題名「周りへの愛」



みなさんは、学校のきまりについて、どう思いますか。「多様性の尊重。」私たちの生きる今、その言葉がたくさん使われるようになりました。今までの「出る杭は打たれる」という、学校や会社の仕組みに疑問をもった人たちが、個性を大事にしていこうよ、という話です。また、性別の区切りをなくしていこうという話もあるようです。テストで、性別の欄に「どちらでもない」が選択肢としてあるのに驚いたこともありました。

私たちの学校では、以前から「校則を見直そう」という声が上がっていました。私は、特に校則に疑問をもったことはなかったのですが、みんなからの意見を聞き、考えるべきことだと思いました。生徒会役員、保護者、地域の方々、そして先生方……。たくさんの方々と一緒に考えました。その中で面白いものがあります。それは「髪型」についてです。「髪型まで校則でしぼられない」という生徒の意見に対し、「自由にしすぎると、学校本来の目的は達成できない」という先生方の意見。私は正直、この時は先生側の意見に賛成でした。というのも、最近その髪型が原因で、学校生活に支障が出ていると思われることがあったからです。たとえば、トイレにある鏡を使うため、休み時間に多くの生徒がトイレに集まってしまい、本当にトイレを利用したい生徒が、利用できなくなっていること。朝起きて髪の毛のセットに時間をとられ、自力登校できず、保護者の送迎に頼っていること。髪型が気になり、授業中でもくしや鏡を出して髪をとく生徒がいること。考えると、たくさん支障が出ていることに気付きました。話し合いの最後に、先生方から「おしゃれがしたいなら、休日にすればよいのではないか。勉強や活動に集中できる環境をつくるためにも、髪型を自由にすることは難しい。」というお話がありました。私はその意見に賛成しながらも、まだ、このことが正しいと納得はできていない自分がありました。

帰宅後、この件を母に話しました。すると母は、「先生方の意見に賛成する」と言いました。しかし、一言こうとも言ったのです。

「もし、私の娘の夢が美容師で、毎日自分を少しでもきれいにして学校に行きたいと思っていたら、今の学校の校則では理不尽に感じるかもね。」と。

その時私は、心に引っかかっていたものがとれたように、母の言葉がずっと入って

きました。確かに、学校は勉強をする場所です。でも、それと同時に、生徒の夢を応援する場所でもあると思うのです。校則だからといって、生徒の好きなことが認められないというのはつらいな。私はそう考えました。この髪型に対する二つの意見は、物事を多角的に見るという点において、とても重要なものになった気がしました。

すべてがしばられるのは良くないと思います。しかし、ルールも必要なのだと、私はこの「校則改正」の活動を通して学ぶことができました。「多様性の尊重」とはすばらしい言葉・考え方です。しかし、なんでも変えてよい訳ではありません。最近、何もかもに「ハラスメント」という名前をつけて、その人自身を傷つける行動が話題になっています。また、トイレや温泉を心の性で分ける、という話もあります。この二つの話は、一方的に決めつける話であったり、「多様」の言葉を使いながらも周りの人への思いを考えていないなど、私は感じました。すべての物事を善と悪に分けることはできないと思います。それでも、その問題に対し、真剣に向き合うこと、多角的に見ることが大事だと、私は生徒会活動を通して思いました。何も知らず、考えず、ただ自分のために文句を言うのではなく、周りに流されず、本当に大事なことは何かを周りの人と考えながら意見を言う人に、私はなりたいです。時代がどんなに変わっても、人の心を温かくしてくれるのは、きっと周りへの愛だと思います。

皆さんも、意見を言う時や何か決めごとがある時は考えてほしい。大切な場面で自分勝手な行動をすると、想いは伝わりません。失敗したとしても、周りの人を想う行動なら、きっと自分の思いは伝わるはずです。

この世界が、周りへの愛で明るくなるようにしたいです。

○ 令和7年度「第47回少年の主張鹿児島県大会」へ向けて！

標記大会は例年6月上旬に応募締切となります。今年度中に、1年間を通して、生徒が書いた作文(夏休みや冬休みの課題を含む)を蓄えて、内容を検討し、作品の準備をしてみませんか。

★ 高校・大学入試や就職試験でも小論文が課されます。是非、意見文に取り組んでください。

国際化の顕著な昨今、公の場で主張できる日本人が求められています。校内弁論大会のない学校がほとんどです。弁論大会の復活とともに意見文を書く機会を増やしてみませんか。

活発な青少年育成活動

【霧島市の取組】牧之原中学校は恒例のパークゴルフ大会を行いました。パークゴルフ協会の方にルールを教えていただきながら、4人1組、学年を解いたチーム編成で午前中、3コースずつプレイしました。また、この行事は保護司会の「社会を明るくする運動」の一環としても行われており、保護司会から参加賞をいただきました。また、民生委員の方々にも参加していただき、中学生と話をしたり、一緒にプレイを楽しんでもらいました。天気にも恵まれ、楽しく有意義な時を過ごすことができました。



【始良市の取組】蒲生中学校では、郷土学習の一つとして、地域のボランティアガイドの方々の案内のもと、「蒲生郷」の町歩き体験を行いました。江戸時代に建造された武家門を見学し、武家屋敷通りを散策する中で、かねて身近にありながら、意外に知らなかった地元の魅力を再発見する良い機会になりました。

【伊佐市の取組】大口東小学校では、校区コミュニティの協力をいただき、創立100周年記念と合わせ、メノ餅飾りを製作しました。小正月の伝統行事で、五穀豊穰、家内安全を祈願して、紅白の餅をつけて榎の枝に刺して床の間や台所などに飾ります。当日は、卒業生の元横浜DeNAベイスターズの細山田さんも来校し、貴重な時を過ごしました。また、メノ餅飾り作りは、平出水小、山野小でも行われ、校区の方と触れ合いながら、子供たちも餅つきを手伝ったり、飾り付けに一生懸命取り組んだりしていました。



「家庭の日」絵画・ポスター・標語コンクールで27名入賞

絵画の部では、優秀賞2名、優良賞2名、努力賞9名。ポスターの部では、優秀賞3名、優良賞1名、努力賞4名。標語の部では、最優秀賞1名、優良賞2名、努力賞3名。合計で27名の皆さんが入賞されました。また、優秀取組賞には、霧島市立国分小学校が選ばれました。入賞者の皆様、指導の先生方、御家族の方々、関係者の皆様、本当におめでとうございます。県内の入賞作品は、県青少年育成県民会議ホームページで閲覧することができます。(そちらでは、カラーで見ることができます。)

部門	賞	学年・種別	氏名	学校名	学年
絵	優秀賞	小学校(中学年)	瀬戸口 葵音	伊佐市立羽月小学校	4
		小学校(高学年)	本坊 望結	始良市立柁城小学校	6
	優良賞	小学校(中学年)	萬徳 結妃	霧島市立小野小学校	4
		小学校(高学年)	馬場 桃愛	始良市立柁城小学校	5
画	努力賞	小学校(低学年)	寺田 楓玄	始良市立帖佐小学校	1
		小学校(中学年)	高木 愛心	霧島市立国分小学校	4
	小学校(高学年)	永山 煌莉	霧島市立国分小学校	4	
		西 航希	霧島市立宮内小学校	4	
		村田 ゆいか	伊佐市立羽月小学校	4	
		緒方 穂夏	始良市立重富小学校	4	
		田中 結也	霧島市立国分小学校	5	
		井手 結里	霧島市立牧園小学校	5	
		野崎 宏太	霧島市立天降川小学校	6	
		優秀賞	小学校(高学年) 中学校	柳鶴 愛花 神宮司 弥咲 田代 雫	始良市立始良小学校 始良市立重富中学校 霧島市立日当山中学校
優良賞	中学校	立山 莉乃	始良市立重富中学校	2	
努力賞	小学校(高学年) 中学校	林 実彩希	霧島市立天降川小学校	6	
		加治屋 結菜	霧島市立日当山中学校	2	
	中山 侑美	霧島市立日当山中学校	2		
	藤田 美心	始良市立帖佐中学校	3		
標語	最優秀賞	小学校(低学年)	小川 海空	霧島市立福山小学校	2
	優良賞	小学校(中学年)	馬場 桜太郎	始良市立柁城小学校	3
		小学校(高学年)	坂元 凜生	伊佐市立菱刈小学校	5
	努力賞	小学校(中学年)	沢津橋 月奈	霧島市立国分北小学校	3
		小学校(高学年)	小田 野乃 松岡 ゆりえ	霧島市立中福良小学校 始良市立山田小学校	3 6
優秀取組賞		霧島市立国分小学校			

【絵画の部】



(優秀賞 羽月小4年 瀬戸口 葵音)



(優秀賞 柁城小6年 本坊 望結)



(優良賞 小野小4年 萬徳 結妃)

【ポスターの部】



(優秀賞 始良小5年 柳鶴 愛花)



(優良賞 柁城小5年 馬場 桃愛)



(優秀賞 重富中1年 神宮司 弥咲)



(優秀賞 日当山中3年 田代 隼)



(優良賞 重富中2年 立山 莉乃)

【標語の部】

最優秀賞	どれにしよう かぞくでわくわく 手まきずし	霧島市立 福山小 2年	小川 海空
優良賞	家ぞくみんなで おわらい大会 みんなそろって 金メダル	始良市立 柁城小 3年	馬場 桜太郎
優良賞	パリ五輪 家族みんなで 夜ふかした	伊佐市立 菱刈小 5年	坂元 凜生

令和6年度『強調月間』の取組 各市町でイベント開催し大盛況!!

11月23日(土)、始良市加治木小学校相撲場において、旧加治木町内5小学校児童を対象に「義弘公奉賛小学生親睦相撲大会」が行われました。国技である相撲の大会を通じて、加治木地区の子供たちの交流を推進し、子供たちの健全育成及び親睦を図るとともに、地区の活性化に資することを目的に行われるものです。

各学年男女別トーナメント方式による個人戦と各学校対抗男女別団体戦が行われ、昨年度と比べて14人多い79人が参加しました。全体での合同練習は2回だけで、それ以外は各学校・各校区での練習でした。加治木小では、低・中・高学年でそれぞれ練習日を設定し、基礎練習や作法指導などを中心に、昼休みに練習を行いました。相撲を通して「友達の輪」が広がり、礼儀作法やあきらめない闘志を学ぶことができました。



11月30日(土)、328人の参加者のもと、霧島市隼人地区で「隼人ランタンFes2024」が開催されました。夕方から、ホテル京セラ前の天降川河川敷に風船や和紙を持った子供たちが集まってきました。隼人地区子供会が主催するスカイランタンフェスティバルです。一人一人が風船に5種類のLEDを入れて空に上げました。周りが夕闇に包まれた午後5時半、一斉に放たれたランタンが夜空を飾り、辺り一面が幻想的な雰囲気になりました。

11月17日(日)、湧水町主催の文化祭と町文化協会主催の舞台芸能祭が開かれました。各学校(園)の児童・生徒たちが、日頃の学習の成果を、多くの町民の方々の前で披露しました。

轟小は合唱とリコーダー合奏、栗野小は金管バンドの合奏でした。吉松中は県内でも珍しいマンドリン部の発表でした。子供たちは、堂々とした態度で本番に臨み、素晴らしい練習の成果を披露しました。これから生活する中での自信に繋がったと思います。



【強調月間中における各市町の主な取組】

市町名	主 な 取 組
霧島市	○隼人ランタンFes2024 ○霧島神宮豊年ほぜ祭り(子供神輿) ○赤い羽根共同募金ボランティア ○中・高校生クラブ(子供会ボランティア) ○親子でニュースポーツ体験
伊佐市	○学校創立100周年記念式典(地域コミュニティと共同開催) ○青パト見守り、地域見守り活動 ○石井鎌手踊りの伝承活動 ○若年層自殺対策ゲートキーパー養成研修会 ○薬物乱用防止教室
始良市	○義弘公奉賛小学生親睦相撲大会 ○AIRAふるさとチャレンジャー ○サイエンスあいらんど ○ジュニア・リーダークラブ活動 ○あいらっ子あいさつ運動標語募集 ○ムーミン講座
湧水町	○秋祭り文化祭・舞台芸能祭 ○子供会活動や家庭の過ごし方を育成部長会・子連理事会や旬報にて周知 ○育成部長会・子連理事会でひと声添えた挨拶運動強調週間の周知

令和6年度「鹿児島県青少年海外ふれあい事業」

県では、「郷土に学び・育む青少年運動」の実践事業として、香港・シンガポールとの交流活動を行っています。本年度は、香港への派遣交流が実施されました。始良・伊佐地区からの参加者に交流の感想を寄せていただきましたので紹介します。

志學館大学 人間関係学部 4年 福岡 奈月(ふくおか なつき)

部活:国際交流サークル

趣味:スポーツ観戦

○ふれあい事業に参加して

香港で多くの青少年と交流し、特に感じたのは香港の人たちは香港の情勢を「自分事」として考えているということです。そのためか、学生の方でもリーダーシップがあり、それぞれ熱心に勉学に打



ち込んでいる姿が印象的でした。また、所得の高低にかかわらず香港の人たちには活気があり、その理由には相互扶助の関係性ができていること、そしてそれは人と物の距離の近さが所以であることを知りました。このことから、活気は産業の活発さだけでなく相互扶助の精神からも生まれるのだと知り、今後もおそらく人口が減り続ける鹿児島で活気を生み出す1つの可能性に気づくことができました。

鹿児島の強みだと感じたものについては、地価が香港に比べて安いことや、観光資源に恵まれており、生活するうえでのスピード感がゆったりしているため長く住みたいと思える場所であること、そして第一次産業が盛んで今後の可能性に溢れていることなどに気づくことができました。

○将来の夢・応募動機

将来海外でも活躍できる人材になりたいという夢があったことと、大学で異国の歴史や文化を学ぶ中で、異文化に対する自分の考えを、自分の経験に基づいたものとして持ちたいと思うようになったため、この機会に参加することを決めました。また、海外の人と接し鹿児島県を俯瞰してみることで、改めて鹿児島県のもつ強みにも気づけるのではないかと思います、その貴重な経験を大学生のうちにしたいと考え応募しました。

○次年度応募する人への助言とお礼の言葉

この事業に参加する際には、語学のスキルの有無より話したいという熱意があることの方が大切です。実際に現地で自分がどう行動したいかのイメージや、鹿児島の強みについて自分の考えがあると良いです。また、1人で行くわけではないので、幅広い年齢間でのコミュニケーションや気遣いができることより楽しい経験になると思います。

実際に香港にわたり、自分の実体験に基づく考えは偏見やSNS等で得た知識と比べて格段に説得力があると知りました。この気づきこそ今回この事業に参加した最大の収穫です。貴重な機会をありがとうございました。

～ 青少年海外ふれあい事業 ～ (鹿児島県ホームページ [海外ふれあい](#) [検索](#))

○応募資格: 県内居住の高校生～30歳まで(社会人を除く)

○募集要領・申込書: 県ホームページからダウンロードできます。

○申込先: 各市町村 青少年行政主管課(市町村教育委員会等)